

# 防災だより

その64

防災専門官 野田 秀敏

## ●2022年に発生した主な災害

毎年発生している自然災害ですが、昨年の日本の地震発生回数は1964回（震度6強1回・6弱1回・5強6回・5弱7回）。福岡県では20回で発生数はともに平年と同規模でした。

風水害は8月に前線に伴う大雨が発生しました。東北と北陸地方で線状降水帯が発生し、雷を伴った猛烈な雨が断続的に降り続き、複数の地点で24時間降水量が観測史上1位の値を更新しました。特に

1月	① 宮崎県日向灘地震
3月	② 福島・宮城沖地震
5月	③ 伊勢湾群発地震
6月	④ 能登半島地震 ⑤ 熊本県美里町地震
7月	⑥ 桜島火山噴火
8月	⑦ 東北・北陸豪雨
9月	⑧ 台風14号 ⑨ 台風15号
10月	⑩ 日向灘地震
11月	⑪ 茨城県南部地震

青森県と山形県では記録的な大雨になりました。

台風は9月中頃、14号と15号が発生しました。特に台風14号は910hPaの猛烈な台風に発達し、鹿児島県から福岡県を縦断しました。その際、台風のコース東側の大分県で最大瞬間風速50.4mと観測史上1位を更新し、大雨による土砂災害と河川増水や氾濫と低地の浸水による被害が発生しました。

本市では台風14号接近に伴い災害警戒本部を設置しました。避難所11カ所を開設し155世帯228人が避難しました。主な災害の表のうち、①⑤⑥⑧⑩と半数は福岡県を含む九州に関係する災害でした。本年も梅雨と台風は必ず

やってくる。市を縦断する警戒断層と宇美断層の脅威も依然として継続しているので注意が必要です。

## 日頃の「私の防災対策」

### 共通事項

- ・非常時持出品の準備
- ・備蓄品(最低3日分)確保
- ・避難場所・避難経路の確認
- ・災害・避難情報の登録
- ・家族の連絡手段の確認

### 風水害

- ・気象情報の確認
- ・自宅災害危険度の把握
- ・避難情報入手の準備
- ・早めの避難

### 地震

- ・家の耐震化・補強
- ・家内の家具・本棚などの固定
- ・突然の揺れに身を守る姿勢
- ・一時避難する場所の確認
- ・家族が落ち合う場所の決定

地域の自主防災組織は地域に住む人同士が協力して被害の防止や軽減を行うなど、有効な防災力となり迅速な対応が可能です。日頃から地域の訓練には必ず参加しておきましょう。



## ●子ども防災学習会

昨年12月、向佐野区で年間を通じて開催している「子ども防災学習会」に講師として参加しました。

当日は向佐野区の高橋防災委員と役員を中心に、保護者10人、幼児から中学生まで35人の子どもたちが参加し、活気に溢れた学習会になりました。今回は次の2つのテーマで学習しました。

1. 避難場所と避難所
2. 簡易テントの組み立て方

テーマ1では説明や資料が分かり易く考えさせる工夫がなされ、子どもたちが興味をもって積極的に自分の意見を発表する楽しい様子が見られました。テーマ2では役員による実演の後、子どもたち



全員で協力して組立作業を行うなど、大人顔負けの作業で立派に設置することができました。同区の川邊自治会長は本年4回の学習会を計画し、最終的には子ども防災訓練を開催したいと話しました。参加者の中から、将来の防災士が育つことを願っています。

同区では自主防災組織役員一丸となって活動しています。新型コロナウイルス感染症対応訓練の開催や避難所設営や避難者の配置、また災害弱者である避難行動要支援者の避難を手助けする人選も進んでいます。